

ぐんま緑の県民基金事業について(総括表)

1 趣旨

豊かな水を育み、また災害を防止するなど、私たちの暮らしを支え、多くの恵みをもたらす森林は、県民共有の財産である。この大切な森林を守り、育て、次世代に引き継いでいくため、平成26年度から導入した「ぐんま緑の県民税」を財源とする「ぐんま緑の県民基金」を活用し、次の目標に向けて、様々な対策に取り組む。

2 目指すべき目標

- ◆豊かな水を育み、災害に強い森林づくり
- ◆里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造

3 事業の内容

金額:千円

区分	事業内容		R2予算			R3 予算 (当初)	担当課
			実績	繰越	計		
水源地域等の森林整備			372,740	242,351	615,091	635,519	
条件不利地 森林整備	地理的、地形的な条件により林業経営が成り立たず放置されている条件不利な森林の間伐等を実施	事業区域調査委託	209,330	77,284	286,614	533,744	森林 保全課
		実施調査委託					
		森林整備の実施					
水源林機能増 進	簡易水道等の上部部の森林で水源涵養機能等の低下が懸念される森林を整備し、水源涵養機能を増進	事業区域調査委託	89,200	123,079	212,279	73,100	
		実施調査委託					
		森林整備の実施					
松くい虫等 被害地の再生	松くい虫被害木が放置され、笹竹が繁茂した森林をコナラやスギなどの森林に再生	事業区域調査委託	72,219	41,988	114,207	25,260	
		実施調査委託					
		森林整備の実施					
事務費	※令和2年度より積算システム維持管理費を追加		1,991	-	1,991	3,415	
ボランティア活動・森林環境教育の推進			9,365	-	9,365	13,576	
ボランティア活 動の推進	ボランティア情報の収集と提供、指導や資機材の貸出など一体的なサポートを行う森林ボランティア支援センターを整備	HP(モノノフ)の運用 安全講習会 ボランティア体験会開催 森林整備作業器具の貸出し 情報誌、メルマガによる情報提供	7,732	-	7,732	11,257	森林 保全課
		森林環境教育の推進					
市町村提案型事業	地域の実情に合わせ市町村やボランティア団体等が取り組む事業を支援	①荒廃した里山・平地林の整備 ②貴重な自然環境の保護・保全 ③森林環境教育・普及啓発 ④森林の公有林化 ⑤独自提案事業	208,465	54,654	263,119	314,293	
制度運営			2,988	-	2,988	3,977	
普及啓発	ぐんま緑の県民税への理解を深めるため、税のしくみ、森林の役割や大切さの普及啓発活動を実施	各種説明会の開催、各種広報媒体の活用、事業地等をバスで巡視地説明会	916	-	916	1,793	森林 保全課
評価検証	事業の内容検討・実績評価・効果検証などを行う第三者機関を運営	ぐんま緑の県民税評価検証委員会開催	662	-	662	774	
		事業の客観的な効果検証を行うために必要な調査・分析		-	-	-	林業 試験場
調査研究	下層植生の早期回復等を図るための間伐率等の調査・研究		1,410	-	1,410	1,410	林業 試験場
計			593,558	297,005	890,563	967,365	

※R2予算の実績欄は、R2予算の年度内完了分であり、R1年繰越しは含まない。

※R2予算の繰越欄はR2年からR3年への繰越しである。